

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：内申書を考える ILAS Seminar :Seminar on official school report on the grade of a student in Japan			担当者所属 職名・氏名	教育学研究科 准教授 奥村 好美		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	1共24			使用言語	日本語
キーワード	内申書 / 教育評価 / 教育方法学						
[授業の概要・目的]							
本セミナーでは、内申書を軸にして、教育評価の基本的な概念や考え方を理解すること、テキストに基づきテーマについて学術的に検討・考察できるようになることを目指します。 授業では、テキスト（田中耕治、西岡加名恵（編）『内申書を問う—教育評価研究からみた内申書問題』）を1章ずつ読み進めます。その際、必ずどこかの章を担当し、要約・追加調べについて発表してもらいます。							
[到達目標]							
・内申書を軸に、教育評価の基本的な概念や考え方を理解する。 ・テキストに基づき、テーマについて学術的に検討・考察できるようになることを学ぶ。							
[授業計画と内容]							
第1回	ガイダンス						
第2回	教育評価とは何か						
第3回	内申書の現状—実態はどうなっているのか						
第4回	内申書問題の歴史—何が課題となってきたのか						
第5回	学校間接続と内申書—内申書に期待される役割とは何か						
第6回	内申書の開示問題—内申書は見ることもできるのか						
第7回	評定と観点別評価—どのように成績がつけられているのか						
第8回	生徒会活動，部活動と内申書—どのように記載すべきか						
第9回	学校間格差と内申書—格差にどう向き合うか						
第10回	イギリスの経験から—なぜ教師による評価は入試に用いられてきたのか						
第11回	フランスの経験から—入試で内申書はどう使われているのか						
第12回	国際バカロレアの経験から—評価の信頼性は高められるのか						
第13回	内申書はどこへ向かうべきか						
第14回	全体総括・ディスカッション						
第15回	フィードバック						
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
毎回の授業後に提出してもらうミニレポート（20％）、授業での発表（80％）							
[教科書]							
田中耕治、西岡加名恵（編）『内申書を問う—教育評価研究からみた内申書問題』（2024）ISBN: 978-4-641-17497-9							
ILASセミナー：内申書を考える(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：内申書を考える(2)

[参考書等]

(参考書)

西岡加名恵、石井英真、田中耕治(編)『新しい教育評価入門―人を育てる評価のために 増補版』
(2022) ISBN:978-4-641-17476-4

[授業外学修(予習・復習)等]

毎回、教科書の指定された章を事前に読んできてください。
また、必ず一度は教科書の要約・追加調べについて、発表を行なってください。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]